

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37101	レクリエーション論 Recreation Theory	谷村和秀・伊藤照美			2	選択	1年・2年前期

科目の概要

少子高齢社会の日本社会においてレクリエーション・インストラクター（以下「レク・インストラクター」）はレクリエーションの「市民サービス事業」を推進する人材として期待されている。（DP③⑥）
21世紀の社会とレクリエーション運動の役割、レクリエーション支援とその展開方法を基礎理論の中心におきながら、インストラクターとして必要なコミュニケーション技能について考察し講義及び演習を行う。（DP②③⑥）
この授業をとおして社会に出てから活用できるレクリエーション支援の技術を身につけるとともに、社会人基礎力を養う。（DP①③④）
学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。（DP③④⑥）

学修内容	到達目標
① レクリエーションの基礎・意義を学ぶ。 ② レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連を学ぶ。 ③ レクリエーションインストラクターの役割を学ぶ。 ④ レクリエーションの企画方法を学ぶ。 ⑤ レクリエーションの援助方法を身につける。	① レクリエーションの基礎・意義を理解し、説明できる。（DP①③） ② レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解し、実施することができる。（DP②③⑥） ③ レクリエーションインストラクターの役割を理解し、説明できる。（DP③） ④ レクリエーションの企画を立てることができる。（DP③⑥） ⑤ レクリエーション支援の展開ができる。（DP③④⑥）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 レクリエーションについて、自ら学修する事が何かを見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力
	実行力 次回の授業内容について、事前に予習・復習をし、学修計画を立てることができる。
考え抜く力	課題発見力 授業で出された課題や問題を分析し、目標を達成できる。
	計画力
	創造力 授業で学修したことや自らの知識を活用して、アイデアを出すことができる。
チームで働く力	発信力 内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解できる。
	傾聴力 グループ活動において、周りの意見に耳を傾け、相手の意見が理解できる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻・無断欠席など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト：日本レクリエーション協会編著『楽しさをおした心の元気づくり』2017年。
～レクリエーション支援の理論と方法～（日本レクリエーション協会発行 本体1,800円）を使用する。
参考文献：必要に応じて適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：レクリエーション実技の授業を履修すること。
資格との関連：レクリエーション・インストラクター 保育士資格 幼稚園教諭二種

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 予習ではテキストをよく読んで内容を整理してほしい。 欠席はしないこと。 授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめ提出すること(必須)。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①		✓	① レクリエーションの意義について、説明できる。(20点) ② レクリエーション・インストラクターの役割について、説明できる。(20点) ※ 期限までにきちんと提出する
				②			
				③		✓	
				④			
				⑤			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①		・授業内容について、しっかりと実践されているか評価する ・参加者が安全で楽しめるレクリエーションを発表する。 ・レクリエーション・インストラクターとしての論理性・明瞭さを評価する。			
		②	✓				
		③					
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性) 積極的に授業へ参加することができる。 (実行力) 事前学習に学習した課題を発表できる。 (課題発見力) 課題や問題を分析し、自分の立てた目的や目標が達成できる。 (創造力) 授業で学習した事を応用して、アイデアを出し、課題に取り組むことができる。 (発信力) 内容の確認や質問などを行いながら相手の意見を理解し、積極的に発言できる。 (傾聴力) 周りの意見を聞き、理解できる。 (規律性) 学習意欲欠如をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの基礎・意義が理解できる。 ・レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解できる。 ・レクリエーションインストラクターの役割について理解できる。 ・レクリエーションの企画・指導ができる。 ・レクの支援ができる。 ・グループ発表において協力し、意見を出し合い全員で議論し、レポートをまとめ聞く側に分かりやすく工夫された発表ができる。 ・総合評価90以上はS(秀)、89~80はA(優)とする・レクリエーションの基礎・意義が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションのライフスタイルとレクリエーションの関連について理解できる。 ・レクリエーションインストラクターの役割について理解できる。 ・総合評価79~70はB(良)、69~60はC(可)とする

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション シラバスの確認 授業の目標と内容の確認をする (演習) アイスブレイキングを体験する (谷村)	講義・演習 授業の内容についての説明	シラバスを理解ができている。 アイスブレイキングの意味が理解できる。	予習：シラバスを読むこと。 復習：アイスブレイキングの意義をまとめる。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
2	レクリエーションの意義と運動・活動について学ぶ (谷村)	講義 演習 レクリエーションの意義と運動・活動について学ぶ	レクリエーションの意義が理解できる レクリエーション運動・活動を支える制度が理解できる。	予習：「はじめに」「レクリエーションを学ぶにあたって」(テキストP4～8)を読む 復習：レクリエーション運動・生活を支える制度をまとめる。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
3	・レクリエーション支援について学ぶ(講義) (1)心の元気づくりの大切さ (2)活動の楽しさとコミュニケーション能力を用いた支援 ・コミュニケーションワーク(演習) (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	・健康について、説明できる。 ・コミュニケーションについて、説明できる	予習：第1章「レクリエーション概論」のI「レクリエーション支援とは」(テキストP9～14)を読む 復習：「健康」及びコミュニケーションについて、まとめる	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	レクリエーション・インストラクターの役割を学ぶ (1)福祉や教育分野などの現場で心の元気づくりを支える。 (2)地域で集結してレクリエーション事業に参画する (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	レクリエーション・インストラクターの役割が理解できる。	予習：第1章IIの「レクリエーション・インストラクターの2つの役割」(テキスト：p15～17)を読む 復習：レクリエーション・インストラクターの役割をまとめる(レポート)	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	レクリエーション理論を学ぶ① (1)楽しさをとおした心の元気づくりの理解 (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	レクリエーション活動の楽しさが理解できる。	予習：第2章第1節I「楽しさをとおした心の元気づくりの理解」(テキストp20～28)を読む 復習：レクリエーション活動の楽しさをまとめる。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
6	レクリエーション理論を学ぶ② (1)ライフステージと心の元気づくり (2)子どもや高齢者の心の元気づくり (3)障がいのある人の元気づくりの課題 (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	レクリエーションの対象者(子ども・高齢者・障がい者)について、理解できる	予習：第2章第1節II「ライフステージと心の健康づくり」、III「子どもや高齢者の心の元気づくり」、IV「障がいのある人の心の元気づくりの課題」(テキストP29～32)を読む 復習：レクリエーション対象者について、まとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7	レクリエーション理論を学ぶ③ (1)地域のきずなづくり (2)子どもを育む地域のきずな (3)高齢者を支える地域のきずな (4)きずなづくりとレクリエーション (谷村)	講義 特別講師を招いての講義とグループワーク。 「特別講師：愛知県レクリエーション協会」	レクリエーションの対象者と地域のきずなについて、理解できる。	予習：第2章第2節「心の元気と地域のきずな」(テキストP33～36)を読む 復習：レクリエーションの対象者と地域のきずなについて、まとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 規律性
8	レクリエーション理論を学ぶ④ (1)レクリエーション支援におけるコミュニケーション (2)対象者との信頼関係 (3)信頼関係づくりの方法 (谷村)	特別講師を招いての講義とグループワーク。 特別講師：愛知県レクリエーション協会 演習	①レクリエーション支援におけるコミュニケーションが理解できる。 ②信頼関係について、理解できる。	予習：第3章第1節「コミュニケーションと信頼関係の理論」(テキストP38～43)を読む 復習：レクリエーション支援におけるコミュニケーション及び信頼関係について、まとめる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	レクリエーション理論を学ぶ⑤ (1) 集団づくりの理解 (2) レクリエーション活動をおとした良好な集団づくり (3) 集団内のコミュニケーションの促進 (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	レクリエーションにおける集団づくりについて、理解できる。	予習：第3章第2節「良好な集団づくりの理論」(テキストP44～49)を読む 復習：レクリエーションにおける集団づくりについて、まとめる。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	レクリエーション理論を学ぶ⑥ (1) 自主的、主体的にレクリエーション活動を楽しむ力 (2) やる気の変化とやる気が生じる心の仕組み (3) 成功体験を支える対象者のかかわり (谷村)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	自主的、主体的に楽しむ力を育む理論が理解できる。	予習：第3章第3節「自主的、主体的に楽しむ力を育む理論」(テキストP50～55)を読む 復習：自主的、主体的に楽しむ力を育む理論が理解できる	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	レクリエーション方法を学ぶ① (1) 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ (伊藤照)	講義 演習 理解度確認と質疑応答によるフィードバック	信頼関係づくりの方法・ホスピタリティについて、理解できる	予習：第4章第1節「信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ」(テキストP58～65)を読む 復習：信頼関係づくりの方法・ホスピタリティについて、まとめる	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	レクリエーション方法を学ぶ② (1) 良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング (伊藤照)	演習形式の講義 パソコンを使用しレクリエーションの集団あそびを調べて考える	良好な集団づくりの方法・アイスブレイキングについて、まとめる。	予習：第4章第2節「良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング」(テキストP66～69)を読む 復習：良好な集団づくりの方法・アイスブレイキングについて、まとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	レクリエーション方法を学ぶ④ (1) レクリエーション活動の企画を立てる。 (伊藤照)	演習形式の講義 パソコンを使用しレクリエーションの集団あそびを調べまとめる	レクリエーション活動の企画作成の留意点が理解できる。	予習：第4章第3節「自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法」(テキストP70～82)を読む 復習：レクリエーション活動の企画作成の留意点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	レクリエーション方法を学ぶ⑤ (2) レクリエーション活動の企画を実施する (伊藤照)	演習形式の講義 ITC活用として学生によるビデオ撮影と音響	レクリエーション活動の実施の留意点が理解できる。	復習：レクリエーション活動の実施の留意点について、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	14回目の授業を視聴し振り返りをまとめる (伊藤照)	14回目の授業をフィードバックする。	レクリエーション活動の評価の留意点について、理解する。	レクリエーション活動の評価の留意点について、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力